

ジョー・バーリンジャー
監督来場！

2019年度メディア社会学科特別公開授業

テッド・バンディ

EXTREMELY WICKED SHOCKINGLY EVIL AND VILE

試写会および監督・学生クロストーク

イベント概要

12月20日から全国ロードショー公開されるアメリカ映画『テッド・バンディ』の試写を行なった上で、来日中のジョー・バーリンジャー監督と立教大学学生によるクロストークの会を催します。

ドキュメンタリー分野で高い評価を受けるバーリンジャー監督は記録映像やインタビューなどを通してバンディに迫ったNetflixオリジナル作品「殺人鬼との対談：テッド・バンディの場合」でも監督を務め、劇映画とドキュメンタリーシリーズ、両方のスタイルで“悪のカリスマ”とも評される人物を徹底的に掘り下げていく試みに成功しています。

登壇：ジョー・バーリンジャー監督、立教大学学生
司会・進行：生井英考（立教大学社会学部メディア社会学科教授）

映画イントロダクション

1970年代アメリカ、30人以上の女性を惨殺したとされるテッド・バンディ。IQ160の頭脳と美しい容姿で、司法・メディアを翻弄し、“シリアル・キラー”の語源になった稀代の殺人鬼。その余罪はいまなお謎に包まれており、本当の被害者の数は誰も知らない。女性からは恐怖でしかないはずだが、刑務所には連日多くのファンレターが寄せられるなど、魅惑的なカリスマ性も持ち合わせていた。3度死刑判決を受けるが、無罪を主張。法律を学んでいた彼は、ついには自ら弁護士となり法廷で徹底抗弁を繰り返した。本作では、世界を震撼させた殺人犯の裏側へと迫ると共に、バンディの長年の恋人の視点を通して善人としての姿を描き、観客を予測不可能な迷宮に誘い込んでいく。

日時：2019年12月5日(木) 15:20～18:50

会場：立教大学池袋キャンパス 8号館 8303 教室 (3階)

申込：下記の登録フォームからお申込ください。(定員 100名)

<https://ws.formzu.net/fgen/S96587256/> 右記 QR コードからアクセス可

主催：立教大学社会学部メディア社会学科 共催：立教大学アメリカ研究所 協力：ファントム・フィルム

上映映画『テッド・バンディ』 監督：ジョー・バーリンジャー 出演：ザック・エフロン

2019年/アメリカ/英語/109分/原題：Extremely Wicked, Shockingly Evil and Vile/配給：ファントム・フィルム

12月20日(金)より、TOHO シネマズ シャンテ他 全国ロードショー



©2018 Wicked Nevada, LLC

